

「新しい公共」円卓会議の進め方（案）

○目的

首相がはじめての国会開催にあたって行った所信表明演説で打ち出した「新しい公共」というビジョンの普及と促進について議論を深める。「新しい公共」のスピリットを、市民、企業、行政などに広く浸透させ、ひとりひとりが「居場所と出番」があると感じることができる、公正で活気ある社会を作るという、これからの日本社会の大きな方向性を示し、それを実現させるための広い意味での社会制度や具体的なアクションにつながる方策などについて提案を行う。

○基本的考え方

社会問題の解決はこれまで、ともすると、「政府か市場に任せる」、いわば、人任せになっていた。政府・行政や市場を通じての企業活動が重要であることは言うまでもないが、「新しい公共」を実現するには、それに加えて、当事者のひとりひとりがそれぞれの役割でかかわることで課題を解決するという「コミュニティ・ソリューション」を促進することが重要である。それぞれの地域でさまざまな社会的ネットワーク活動が展開され、多くの人に参加し、成果を共有し実感することで、ひとりひとりの潜在力が発揮され、絆が強まり、相互信頼が育つ。それによって一層、社会ネットワーク活動が盛んになるという好循環が生まれる。

これは、単にボランティア活動や社会貢献活動というだけでなく、地域の雇用を創出し、新しい市場を生み、公正でコストが低く、満足度が高い社会が実現する。それによって「人間のための経済社会」にも寄与する事が期待される。

○検討事項の例

（1）先進事例スタディ（現場の話を聞く）

①NPOや社会的企業の取組

（例. 徳島県のコミュニティビジネス「いろどり」、長野県茅野市の子育て・医療、24時間在宅医療支援ネットワークであるライフケアシステム等）

②企業CSRによるNPOとの連携・支援

（例. クラウドサービス提供、クリック募金、融資プラットフォームの提供等）

③学校と地域の連携など教育分野の事例

（2）環境整備（「新しい公共」を促進するための社会制度の提案）

①バウチャー等によるNPO／社会企業活動の促進

②法人制度、税制のあり方

③規制のあり方、地域と期間を限定した特区の活用（社会イノベーション特区等）

○今後のスケジュール

- ・ おおむね月1回開催を目途
- ・ 加えて、国会日程等を勘案しつつ、現地視察・意見交換を行う